

学校教育委員会報告



第2回 学校交流会を開催して

榎原 弘之*

Hiroyuki Narabara

河田 直樹**

Naoki Kawata

今年（2021年）の9月3日（金）に、学校教育委員会行事として、完全オンライン形式での学校交流会が、埼玉工業大学をホスト校として開催された。

参加者総数は、35名（内訳：教員等学校関係者13名、学生17名、学会役員5名）であった。第1回が計21名の参加であったので、増加傾向にあることがわかる。第3回以降も参加者が増えるように企画していきたい。

今回の交流会の特色は、2020年度品質工学会学生賞を受賞した3名の学生（卒業してしまっている学生の研究は当時の指導教員）に受賞した研究テーマに関する講演を依頼し、それぞれ発表時間15分、質疑応答5分で講演を行ってもらったことである。

また、そのセッションの冒頭では、審査部会長田村希志臣氏から学生賞の紹介と授賞の理由について説明いただくなど、学校教育委員会外からの部会の役員の協力も得ての開催となった。

今回の全体のプログラムは以下の通りである。

<交流会プログラム>

全体司会：埼玉工業大学 河田直樹

1. 開会の挨拶

学校教育委員会委員長 九州工業大学 榎原弘之

2. 2020年度品質工学会学生賞受賞研究の記念発表
審査表彰部会長挨拶 審査表彰部会 部会長 田村希志臣

2.1 「タグチメソッドによるペルチェ式生体用冷却

装置の外気温変化に対するロバスト性と省エネ性能の向上」和歌山大学 梅田隆生（指導教員 鈴木新）

2.2 「主観的コンディションデータによる投手の怪我検知—MT法と多変量管理図の適用—」慶應義塾大学 谷口勇紀（指導教員 鈴木秀男）

2.3 「MT法による音声および打音の判定技術に関する研究」

日本工業大学 指導教員 二ノ宮進一（受賞者 舟山善貴）

3. 学生による卒業研究中間発表

司会 ここからリレー方式で各指導教員が担当

3.1 研究計画報告

3.1.1 「模型実験による鉄道車両の状態監視技術の研究」

埼玉工業大学大学院 機械工学専攻1年 池田圭佑（河田研究室）

3.1.2 「超硬合金の収縮予測における予測手法の比較」

福井工業高等専門学校 機械工学科5年 昆沙賀充（伊勢研究室）

3.1.3 「3Dプリンター用樹脂フィラメント成形条件の最適化」

九州工業大学情報工学部 知的システム工学科4年 國松遙平（榎原研究室）

3.2 研究中間報告

3.2.1 「3Dプリンター最適化に関する基礎的研究」

埼玉工業大学工学部 機械工学科4年 橘高周平（五味研究室）

3.2.2 「教材としてのヒートシンクの最適設計」

西日本工業大学工学部 総合システム工学科4年 Duong Dinh Hieu（石田研究室）

*九州工業大学

** 埼玉工業大学